

# 消防かわら版

平成28年4月

平成28年度全国  
統一防火標語

## 無防備な 心に火災がかくれんぼ

春の全道火災予防運動 4月20日～30日

「春の火災予防運動」は、火災を発生させないよう注意していただくため、市民の皆様が一層の火災予防意識を高めていただくようお願いし、ご家庭や職場で火災に対して備えていただくことで、火災の発生を防ぎ、尊い命や財産を守ることを目的として行っています。

火災は、あなたの財産、そして命までも奪う恐ろしいものです。

登別市では例年より多い17件の火災が発生しています。

火災に対して十分な備えをして、家族や隣近所の助け合いを大事にし、皆で声をかけあって火災予防に取り組みでいきましよう。



**住宅用火災警報器の  
維持管理は大丈夫で  
すか？**



せっかく取り付けた住宅用火災警報器も、いざという時に正常に機能しなければ意味がありません。

日頃から点検とお手入れを行いましょう。

### お手入れについて

警報器はホコリ等が付くと感知しづらくなります。

1年に1回程度布等で乾拭きをして次のことに注意してください。

- ① 有機溶剤（ベンジン・シンナー等）を使用しない。
- ② 水洗いはしない。
- ③ 煙流入口をふさいだり、傷をつけたりしない。

### 作動テストについて

警報器のボタンを押すと、テスト音が鳴ります。音が鳴らない時は次のことを確認してください。

- ① 電池がきちんとセットされているか？
- ② 電池切れではありませんか？

### 電池交換時期について

電池切れのときは音でお知らせするか、ピッピッピッと音が鳴ります。

電池の寿命は機種により異なりますので、本体裏側の表示で確認ください。

10年で本体交換が推奨されています。



火事と救急は119番 火災等の情報案内は88-1515番

登別市消防本部・登別市消防署

85-9611

85-2551

### 4月は「新生活」の季節

新居の防災対策は大丈夫ですか？

新しい場所での新生活を始める人たちはこの機会にご自宅の防災対策について考えてみましょう。

### 室内の地震対策について

近年発生した地震でケガをした原因を調べると約30%〜50%の人が、家具類の転倒・落下・移動によるものでした。とくに大きな地震が発生した時には冷蔵庫が歩き出す、電子レンジが飛びなどの事例が報告されています。



家具の転倒を防ぐために、金具や突っ張り棒で壁や天井に固定すれば、もしもの際に安心ですね！



### 家具の配置換えで簡単にできる地震対策

寝室に家具を置く場合は、家具の前では寝ないこと。もし家具の近くで寝ることになる場合は、家具の高さ以上に寝る位置を離しましょう。さらには出入り口付近には、背の高い家具を置かないことが重要です。

### 壁や家具の種類にあった転倒防止策

家具の配置が決まったら、転倒防止のためしっかりと固定しましょう。引き出しや観音開きの扉には、中身が飛び出さないようにストッパーをつけておく。特に食器棚などは、飛び出して食器が破損してしまうと危険です。ので、必ずしておきたいところです。

### もしもの時に

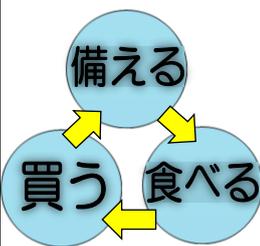
### 食糧備蓄を

大規模な災害等の事態に備えるため、最低でも3日分、出来れば1週間分、食料の蓄えがあれば安心です。さらに人間1人が1日に必要な飲料水は3ℓ、生活用水になると6ℓの水が最低限必要です。

### ローリングストック法



1週間もの食糧を備蓄するのは大変なことで、消費期限が来るたび大量購入、廃棄を繰り返すことになりません。ここでおすすめするのがローリングストック法です。備蓄品を最初に多めに購入し、その後は定期的に消費して使った分を補充します。



### リコール情報について

製品等に何らかの欠陥や不具合があり、火災等の重大事故が発生する可能性があります。消費者庁が安全に使用できるための予防的措置として、事業者が回収、修理等を行うものについて、消費者庁で情報提供を行っています。また特に火災の危険性が高い案件については登別市のホームページに掲載しております。随時更新を行っていただきますのでご確認ください。

リコール対象商品が、身の回りにある場合は、すぐに使用をやめ、リコールを実施する事業者の対応に従い、事故に遭わないよう気を付けましょう。

